

みんなが笑顔で安心して暮らせるまちに

あなたの周りに虐待や差別などを受けている人はいませんか？あなたからの連絡が必要な支援につながります。一人ひとりの気付きで、みんなが笑顔で安心して暮らせるまちにしましょう。

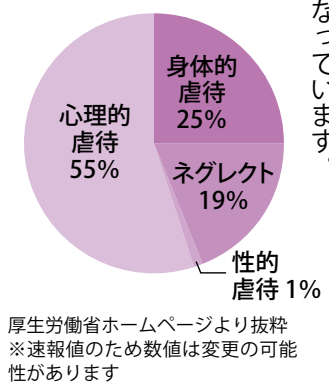
問い合わせ あんしん相談センター ☎24・8070

増える児童への心理的虐待

児童虐待が原因で幼い命が奪われる痛ましいニュースが後を絶ちません。全国の児童相談所での児童虐待相談対応件数は年々増加し、毎年、過去最高を更新しています。

相談内容では心理的虐待が最も多く、全体の半数以上を占めます。直接暴力を振るう身体的虐待とは異なり、子供の目の前で家族に暴力を振るう「面前DV」や暴言を吐くなどの心理的虐待。これらは、子供の脳に大きなダメージを与えることが研究で明らかになっています。

児童相談所での虐待相談の内容別件数割合(平成30年度)



「虐待かも」と思ったら

児童相談所へ寄せられる虐待相談は警察などが50%と最多で、それにくのが近隣や知人からの通告です。皆さんの気付きと行動が解決への糸口となります。

家族のことも相談を

近年、80歳代の親が自分の年金で無収入の50歳代の子を養っている8050問題が社会問題となっています。このようなケースでは、子供が自分の生活資金のために親に介護を受けさせないなど、経済的虐待や介護・世話の放棄放任につながってしまうことが多くあります。

「自分の家族のことだから…」と親子だけで解決しようとせず、早期の相談・支援が重要です。

孤立が招くセルフネグレクト

「長期間、自宅に閉じこもり、介護や医療などの必要な支援を拒否する」「身の回りを清潔にすることに無頓着になる」「ごみをため込んでいる」などの状態にあるセルフネグレクト。孤立などをきっかけに、年齢に関係なく陥ると考えられています。家族や地域とのつながりが薄れてはいませんか。

少しでも思い当たることがあれば勇気を出してご相談ください。相談者の秘密は守られます。



小松市くらし安心ネットワーク協議会 委員長 土中 伊佐男さん



小松市くらし安心ネットワーク協議会 いのちと心の部会員 竹田 昇さん

虐待等防止キャンペーン

とき 10月31日(木)～11月7日(木)

ところ アル・プラザ小松

内容 パネル展、パンフレット・啓発物品などの設置

○オープニング式

とき 10月31日(木)11時～11時30分

○イベント

とき 11月2日(土)13時30分～15時30分

内容 森田観光ミニライブ、パネル展クイズ(参加賞をプレゼント)、出張相談(虐待など)

街頭キャンペーン

児童虐待や障がい者虐待、DV、障がいによる差別などの防止を呼びかけます。

とき 11月2日(土)10時～11時

ところ アル・プラザ小松

内容 チラシ、啓発物品の配布



▶虐待防止に関するパネル展

相談先一覧

相談内容	連絡先
児童虐待	こども家庭課 ☎24・8073(月～金曜日 8時30分～17時15分)
高齢者虐待	長寿介護課 ☎24・8168(月～金曜日 8時30分～17時15分)
障がい者虐待	小松市障がい者虐待防止センター(ふれあい福祉課内) ☎24・8182 耳の不自由な人専用(メール) shougaisya-gyakutai@docomo.ne.jp
DV(ドメスティックバイオレンス)	小松市パープルホットライン(あんしん相談センター内) ☎24・8178 (月～金曜日 9時～17時※年末年始、祝日は除く)
こころの健康	いきいき健康課 ☎24・8161(月～金曜日 8時30分～17時15分)
どこに相談したらよいか分からないもの	あんしん相談センター ☎24・8070(月～金曜日 8時30分～17時15分)